2021
12月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南１-９-８
ケイ・アイビル２Ｆ
TEL　092-433-3338
FAX　092-433-3535
Mail：fukuciku@gmail.com
（ＨＰはこちら）

青年劇場『あの夏の絵』公演
平和を継承する大切さを伝えよう

11月10日に青年劇場『あの夏の絵』が公演されました。『あの夏の絵』は、広島県の基町高校の被爆者証言を聞いて絵を描くとりくみを元にした演劇です。今年は、核兵器禁止条約にはじまり、コロナ禍の中、平和に関する情勢が大きく変わった年です。

福岡地区労連では、芸術文化への支援と平和行動のため、また、この公演成功に向けて準備を行ってきました。

青年劇場『あの夏の絵』福岡市実行委員会は、これまで準備会を含めて６回の会議を行い、各団体への呼びかけと安全安心の公演を目指して検討を行ってきました。

当日は、各団体から応援を要請し開場までの準備を15時より行いました。パンフレットへのチラシ折込みや会場設営など、18時の開場に向けて準備が行われました。開場が18時からにもかかわらず、開場前から列ができ老若男女問わず約３００名以上来られました。

また、当日チケットを購入で見られる方や公演開始後、遅れてでも見に来られる方もいらっしゃいました。子ども連れの方へは、託児所を用意し安心してみて頂けるように配慮しました。

公演終了後は、サプライズとして『あの夏の絵』の元になった基町高校のとりくみで描かれた絵のレプリカを展示しました。公演が終わって夜遅いにもかかわらず、皆さん足を止めて絵を見ていました。

今回、コロナ禍の中、この公演を成功させることができたのは各団体の力を一致団結できたことです。また、この公演をとおして平和活動や後世への平和を継承することの大切さを知って・考えて・広げてほしいと思います。

（編集委員　松尾）

実行委員会で開演準備

客席に向けてキャストよりあいさつ

観劇に夢中になれた公演

たくさんの方に来ていただいて、その熱気を感じながら観劇に集中することができました。そのためか感動もひとしおでした。核の悲惨さを語り継ぐことが本当に大事だと、改めて確信できた気がします。そのことが、舞台の上、客席でも広く共有できたと実感しています。ありがとうございました。

役者さんは背筋がピンと伸びてリズミカルに歩き、格好よかった。日常会話より早口めのように感じた台詞のテンポも、歯切れがよくて全く違和感なかった。さすがだと思いました。（実行委員長　山本　一行）

平和と記憶の継承の力に

実行委員という立場で携ることが初めてでした。コロナ禍で、本当に公演日を迎えられるのかと不安でしたが、多くの方が劇場の席を埋めており、一安心しました。「原爆の絵」は、被爆者の生きた70年の記憶を受け止め、絵に描いた高校生たちの覚悟によって形を得たものです。一枚の絵に込められている想いは図り知れないものがあり、だからこそ見た人の心を動かすものになったのだと痛感しました。素晴らしい公演の成功と、平和と記憶の継承の力になれて何よりです。（自治労連　永富）

「あの夏の絵」実行委員を終えて

今回、「あの夏の絵」の実行委員会に福建労を代表して参加させていただきました。

「どのようにして呼び掛けると沢山の人に観てもらえるか?」、「感染症対策をどのようにするか」など安全面を考慮しながら、いかに多くの人に広めていくかなどを深く議論しました。

当日の来場者は３００名を超えており、今回の呼びかけの成果が出たのではないかと思いました。

今回の取り組みを通して、実行委員含め、多くの方に「平和を継承すること」の大切さを知ってもらい学習をする良い機会になったのではないかと思います。

（福建労東支部　新堂）

戦争をなかったことにさせないため

同じ戦争でも一人一人の記憶は当然違って、私たちが話を聞かないままに当事者が亡くなると、戦争を思い出すパーツがまるっとひとつ抜け落ちてしまうことに恐怖を覚えたと同時に、当事者の生の声を聞ける最後の世代としての責任は重たいなと思いました。

戦争をなかったことにさせないためにも、近いうちに当事者の話を聞く学習会をしたいと思いました。

（民青同盟　砂川）

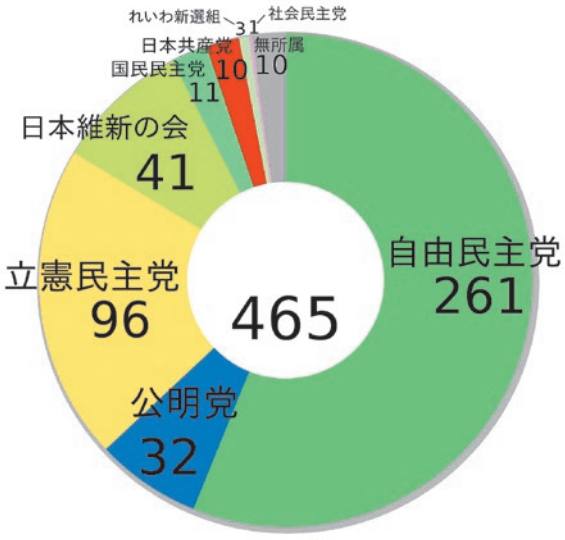
2021年衆議院選挙結果について

福岡地区労連　議長　米地輝高

○福岡県では野党善戦・北九州市では自民衆院議員ゼロに

10月31日投票の衆議院選挙は、安倍・菅路線を踏襲した岸田政権による新自由主義政策から市民と野党共闘による政権交代を目指す闘いでした。野党共闘の選挙協力により、自民党の幹事長や現職大臣が小選挙区で落選するなど多くの選挙区で競り勝つことが出来ましたが、自民党は単独で絶対安定多数の261議席を確保しました。市民と野党の共闘の4野党(立民、共産、社民、れいわ)の統一候補は全体として議席を伸ばせませんでした。自公政権に対する批判票は、その補完勢力である維新に流れる結果となりました。

福岡県では前回の衆議院選挙で県内すべての小選挙区11議席を自民党が独占していましたが、今回、5区、10区で野党共闘の候補が競り勝ちました。9区では、統一候補にはなりませんでしたが、非自民の候補が勝ったことで、北九州市の自民党衆議院議員はいなくなりました。



政党別獲得議席数

○野党共闘はどうだったか

衆議院選挙後、野党共闘が小選挙区で与党候補との1対1対決となりました。立憲は15議席減、共産党は2議席減となったことから野党敗北の原因を野党共闘に求める論調が目立っていますが、専門家の分析は異なる意見が目立ちます。

「武器としての世論調査(ちくま新書)」の三春充希氏は、「みらい選挙プロジェクト」というブログで野党共闘の結果を分析しており、「維新を含む与党と共闘した野党の得票率の差が5ポイント未満の接戦区が明らかに増加しており、もし、全国的に5ポイントほどの票が野党側に動き接戦区を制していれば自民党は過半数割れになっており、選挙結果は一転した」としています。

与党自民党からも「立憲と共産党の統一候補というのは、大変な脅威だった。自民党は最終的に接戦区で競り勝ったため、結果的に良い数字をとることができたものの、結果が反転していてもおかしくはなかったというのが実情だった。(自民党情報調査局長:平将明議員)」と報道番組「報道1930(BS-TBS)」で述べています。

政治評論家の山口二郎氏は、「候補者の一本化に時間を取られたため、突然候補者が一本化され、これまで支援してきた人と別の人を応援しろと言われても、なかなか力が入らなかったというのが実情だろう。(AERA 11月16日)」と分析。

東京工業大学の中島岳志教授は、「22年参議院選挙まで8か月を切った。野党共闘をいかなる形で進化させるのか、その方法が問われている。(西日本新聞・論壇時評11月24日)」と述べています。

つまり、野党共闘が否定されたのではなく、野党共闘が徹底できなかったことが問題点だということです。

○改憲の動きを止めよう

憲法を改悪する議論ができていることから、来年の参議院選挙はこれまでにない重要な闘いになります。野党共闘をやめる選択肢はもうなく、今回初めて野党共闘で政権交代をたたかった衆議院選挙を踏まえ、市民と野党の共闘を強化し、参院選挙戦勝利と改憲阻止のため、福岡地区労連の加盟組合が一致団結して奮闘することを呼びかけます。

警固公園に集合　九条改憲NOのアピール行動

警固公園に集まった参加者

11月3日(水)に「九条改憲NO!憲法活かす、いのちと暮らし守る政治こそ」というテーマで警固公園において憲法集会が開催されました。集会には、多くの人たちが集まりました。第一部では、博多にわかが披露され久々に集まったみなさんと笑い合いました。

第2部では、私の思いというテーマで青年や地域九条の会のみなさんからの憲法に対する熱い思いを話して頂きました。集会のあと、久々に天神地区をデモ行進し、九条改憲NOのアピール行動になりました。

10月31日に総選挙が終わり、岸田内閣が誕生しました。岸田内閣は、今まで九条改憲に向けて様々な法律を強行採決してきた安倍元首相の意志を引き継いだ政権です。今こそ平和憲法九条がどれだけ国民にとって良いものかということを伝えていく必要があるのではないでしょうか。

(編集委員　田中)

年金引き下げ違憲訴訟

現役世代も安心できる年金制度を

博多駅にて訴える

年金引き下げ違憲訴訟控訴審は、12月22日に結審を迎えます。

この裁判は、2004年に「マクロ経済スライド」が導入され、安倍・菅内閣の9年間で6・5%の年金額が削減されました。現在、全国の年金者組合員が39地裁で訴えていますが30地裁で不当判決が下されています。福岡でも裁判所に対して、今の年金では暮らしていけない実情を訴えてきましたが、裁判所は国の主張を鵜呑みにして正しい判断をしていません。12月22日はいよいよ控訴審が結審となります。たくさんの皆さんの傍聴支援をお願いします。年金者組合は、若い人も高齢者も安心できる年金制度を構築するため、今後も引き続き奮闘していきます。

(地区労連幹事:森塚利秋)

福岡高裁判決日
12/22(水)14:30
福岡高等裁判所

今後のスケジュール

○県春闘総会・22春闘討論集会
12月12日(日)10:30~16:30
第5博多偕成ビル

○街角なんでも相談会
12月26日(日)13:00~15:00
警固公園

○消費税廃止各界連宣伝行動
12月17日(金)18:00~
博多駅筑紫口